

広報
新地町

しんち

2集

1995. No.284

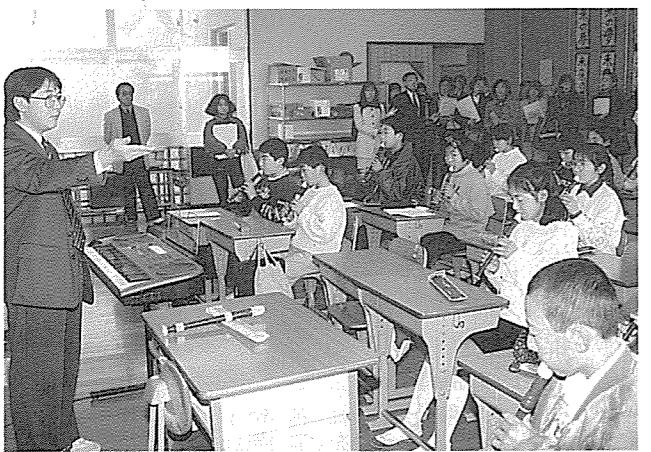
◎発行と編集／新地町役場・企画振興課(〒979-27 福島県相馬郡新地町谷地小屋字萩崎40 ☎0244(6)2111・FAX(6)3194)



(関連記事 2~5頁)



▲3年生が四季の「秋」を表現



▲朝の学習タイムで先生の指導で笛の練習



▲熱心に授業風景を見つめる先生方

午前八時五十分からPTAのボランティアの協力を得て受付が始まりました。全国各地から先生方が訪れ、次々に校舎に入っています。ちょっと新地小の先生方や子供たちに緊張の色が見えます……。

九時二十分、いよいよ『公開活動』。オープنسペースの広々とした教室から子供たちのびのびとした歌声が聞こえてきます。訪れた先生方は、子供たちの歌声や態度に注目し、熱心にメモなどをとります。

九時五十分からは同校体育馆で音楽集会。初めに、二年の森尋美さん（大戸浜）の作詞、作曲したテーマソング、「あわせよう、ひびかせよう」。ハッピを着た一、二年生が笛や太鼓で演奏する祭りばやしに合わせ、神輿が軽快に登場し、夏を表現、会場からため息がもれました。フィナーレは、同校の校長先生をはじめ先生方全員が参加し、子供たちと確かめ合うように「歌よ、ありがとう」

全国でただ二校、文部省音楽科教育研究校の指定を受けている新地小学校（後藤桂一校長）では一月二十六日、北は青森県、南は愛媛県から先生方約二百四十人が集い、音楽集会・講演会が行なわれました。県教委、町教委、新地小主催。平成五年度から二年にわたり指定を受けた同校では、子供たちが音楽に興味をもって楽しく取り組んでもらうよう、さまざまな工夫をこらして授業を進めてきました。

当日は、子供たちは大勢の先生方が見守るなか、きびきびとした態度で音楽集会や公開授業など、二年間にわたって研究した成果を披露しました。

文部省音楽科教育研究校指定・新地小

音楽教育の研究成果を披露



▲体でリズムをとりながら歌う朝の「学級タイム」



▲全国各地から先生方が集う



▲のびのびと表現力も豊かに



▲太鼓の音が会場にこだまする



▲先生のギターもよかったです



▲文部省の金本正武先生が講演



▲相模教育事務所佐藤幹夫先生が主催者あいさつ



▲後藤校長がお礼を述べる



▲目黒町教育長が主催者あいさつ

午後からは、先生方による研究発表会や講演などが同校体育館で行われました。同校研究主任の但野真一先生が「研究経過と研究概要」を報告しました。県教育庁義務教育課指導主事の波谷朗先生が講評（講評内容は次の頁参照）、続いて、文部省の初等中等教育局小学校課教科調査官の金本正武先生が「新しい学力観に立つ音楽教育」と題して講演しました。

「町づくりは人づくり」の観点から県内初の共立学校・観海堂が創設されて百二十年。名称は新地小学校と変わつても、音楽を通じて今もなおその伝統と精神が脈々と子供たちの中に息づいていました。

表現力豊かに 音楽活動を通じて

午後からは、先生方による研究発表会や講演などが同校体育館で行われました。同校研究主任の但野真一先生が「研究経過と研究概要」を報告しました。県教育庁義務教育課指導主事の波谷朗先生が講評（講評内容は次の頁参照）、続いて、文部省の初等中等教育局小学校課教科調査官の金本正武先生が「新しい学力観に立つ音楽教育」と題して講演しました。

「町づくりは人づくり」の観点から県内初の共立学校・観海堂が創設されて百二十年。名称は新地小学校と変わつても、音楽を通じて今もなおその伝統と精神が脈々と子供たちの中に息づいていました。

音楽で人材育成

二年間で大きな変化

かな子供」の育成を目標に学校全体で学習活動を新たにしました。

ました。さらに週一回「歌声集会」を行い、異学級・異学年の歌声を聞き合い、それを行い、お互いを高めました。

新地小学校研究主任
但野真一先生



子供たちが人前で発表したりするとき、堂々とはつきりらず、地域の新しい文化の創造となつてほしいです。
だけで考え、行動することが増えています。

学校での活動だけにとどまらず、地域の新しい文化の創りとも楽しいです。発表会も緊張したけど、うまくできました。

歌で心豊かな子供を育てる

今までの音楽学習は子供たちが音楽に興味を持ち、自ら学ぶ意欲を養うのではなく、反復練習など基礎技術の体得が主になりました。

平成五年度から文部省から音楽科教育研究校の指定を受けた新地小学校では、子供たちの意識調査を行うなど、「生涯にわたって社会の変化に主体的に対応できる、心豊

かな子供」の育成を目標に学校全体で学習活動を新たにしました。さらに週一回「歌声集会」を行い、異学級・異学年の歌声を聞き合い、それを行い、お互いを高めました。

同校では子供たちが少しでも多くの音楽にふれるよう毎月の季節感あふれる歌や集会の課題曲、クラシックを校内放送で登下校時や休み時間、清掃時に音楽を流し、朝の学級タイムでは一日のウォーミングアップに発声練習を行い

すばらしい発表会でした。まだ、私の頭の中に皆さんの歌が流れ、心に焼きついでいます。

先生たちも学習の段階を「楽曲との出会い」「課題の抽出」「課題の追究」「分かち合い」「活用」の五つにわけ、子供たちが常に明確な目標を持ち、学習できるよう支援しました。

音楽教育の根幹となる「子供一人一人をどう育てるか」ということの答えがここにあります。こうした学習が新地小だけでなく広く行なわれることを期待します。

校舎内に歌があふれる

先生と子供たちがともに学び楽しむ

目黒翔子さん
(新地小・2年)

大きな声で歌うと元気になります。朝にみんなで歌うと一日楽しくなるような気がします。もつといろんな歌を早くたくさん覚えたいです。

生活のなかに音楽がある

また、音楽の授業を専門の先生が行うではなく、各担任の先生が行い、子供たち一人一人に対する理解を高める同時に、自ら音楽を楽しみました。中には自分でギターを始めるなど、先生も音楽を好み、子供とともに学び、成長しました。

きく変わりました。同校では子供たちの問題活動が極めて少なくなったほか、保護者や発表会の参観者たちが「子供たちが自然に歌を口ずさんでいる。お風呂に入っている時など、どんなところでも歌が聞こえてくる。子供たちの生活に音楽に入りこんでいる。」

「子供たちがよく相手の歌を聴いて歌っている。音を聞き分ける能力が高い」と話すなど、音楽が子供たちに大きな影響を与えます。



▲先生方もメモをとりながら参観



▲音楽集会で祭りばやしに合わせ神輿も登場



▲午後からは文部省の金本正武先生の講演を聞く



▲美しいハーモニーが響きました。



▲子供たち同士で話し合い曲づくりをする



▲音楽集会を終えてホッと一息、カメラに向かってVサインが出る



▲PTAボランティアが体育館に花飾り



▲観海ホールで「公開授業」

下水道

水に新しい命を

— シリーズ⑧下水道 —



▲サケがもどった豊平川（札幌市）

21世紀への
遺産づくり

今日、私たちが健康で快適な生活をするために、下水道はなくてはならないものになっています。

大きな都市では、下水道はかなり広まつていて、多くの人によって使われていますが地方の小さな都市や、農村、

産業が発達し、私たちの生活が豊かになつていくにつれて、下水道の役割もどんどん大きくなつていきます。下水道がなければ、私たちは快適な生活をすることができませ

た、いくら下水道ができるても、川や海にごみなどを捨てていったのでは、川や海はいつまでたつもきれいにならず魚も住めなくなってしまいます。日ごろから川や海もきれいにするという心がけも大切です。水は、自然の大きな恵みです。大切に使わなければなりません。

新地町でも、下水道を計画し下水道ができたおかげでその地域のイメージがよくなるなどの効果があることから、下水道は町づくりの根幹であるという考え方で、早期完成をめざしていきます。

This is a grainy, black-and-white photograph of a city skyline across a body of water. The foreground is dark and textured, possibly representing a shoreline or a distant landmass. The middle ground is dominated by a large body of water, its surface slightly rippled. In the background, a dense cluster of buildings is visible, including several tall skyscrapers. The sky above is hazy and overexposed, creating a soft, diffused light effect. The overall composition is a wide-angle shot, capturing the vastness of the water and the urban landscape beyond.

ご協力ください
農業センサス

の資料には絶対にいたしませんので、ぜひありのまま調査員にお話しください。

こんにちは保健婦です

平成七年二月一日を基準日として、農家等の土地や生産状況を調べる「農業センサス」が全国一斉に行われています。当町では一月十九日、農村環境改善センターで説明会が開かれ、荒町長が県知事から調査員に委嘱状された早川照明さん（岡）ら四十八人に委嘱状を交付。その後、担当職員から調査方法や注意事項の説明がなされました。

● 調査員

早川照明（岡）、中津川誠樹（岡）、大堀弘明（岡）、加藤良一（新地町）、鈴木忠光（新地町）、井上康夫（中島）、荒馨（釣師）、砂金豊光（釣師）、荒健悟（釣師）、目黒清明（杉目）、杉目一男（杉目）、加藤栄一（杉目）、寺島卓浜（小川）、小野俊文（小川）、寺島幹雄（小川）、竹澤正美（大戸浜）、寺島信吉（大戸浜）、寺島

適切な農業施策を行い、農業の発展を図るため農業の現状とその動向を的確に把握することが重要です。

農業センサスは、我が国の現状とその動向を明らかにし、これらの諸施策の方向づけや具体的な計画立案をはじめ、町づくり、村づくりに欠かせない基礎的な資料を得ることを目的としています。

現在、各調査員が農家に伺い、農家経営等について聞き取り調査を行っています。調査結果は外に漏らしたり課税

政市(大戸浜)、佐藤巳代治(今泉)、菅野学(今泉)、斎藤一(沢口)、窪田松雄(鉄炮町)、横山初雄(明地)、荒正昭(大山田)、岡元淳(中里)、荒二郎(中里)、荒巖(木崎)、荒武義(堺浜)、荒幸男(作田)、荒正芳(作田)、小野市太郎(下真弓)、佐藤正(上真弓)、林隆雄(上真弓)、斎藤利幸(菅谷)、菅野久雄(菅谷)、八巻武雄(菅谷)、石田一夫(高

田)、山内安義(高田)、木村孝行(波民)、阿部璋積(新町)、阿部照雄(駒ヶ嶺町)、寺島昭幸(城内)、加藤末吉(原相善)、佐藤義美(富倉)、日黒清文(富倉)、吉田進(藤崎)、菅野正實(藤崎)、飯土井喜基(今神)

この予防接種に関する法律が
昨年十月に改正になり、今年の
四月から、子供の予防接種のや
り方が大きく変わります。
主な改正点をあげてみますと、
● 予防接種、受けるかどうかは
親の判断で
これまでには、ポリオ、麻疹ん
(はしか)などのいわゆる定期接
種は、法律で接種を受けなければ
ばならないと義務づけられてい
ましたが、今後は「接種に努め
なければならない」という努力
義務規定にかわりました。つま
り、接種を受けるかどうかは、
親の判断にゆだねされることに
なったわけです。

● 予防接種の対象となる病気が
変わった

● 集団接種から個別接種へ

お母さんから赤ちゃんに。プレゼントした、病気に対する抵抗

新しい制度のもとで定期的に
行われる予防接種の対象となる
病気は、ポリオ、ジフテリア、
百日咳、破傷風、麻疹（は
しか）、風疹、日本脳炎、B.C.
（結核）の八種類になりました。
インフルエンザは定期接種から

The Photo Scramble

ザ・フォト・スクランブル

あなたの周りの身近な話題をお寄せください。

元旦鹿狼登山に1,200人 一年の幸せと健康祈願



元日恒例の第

16回鹿狼登山が第
行され、町内外
から家族連れな
ど約1,200人
人が参加しまし
た。

参加者たちは、
午前6時の花火
を合図にスター
ト。山頂では、
お神酒が振る舞
われ、荒町長の
あいさつの後、
一斉に万歳三唱、
今年1年の幸せ
と健康を祈りま
した。

平成7年の消防出
初め式が1月8日、
公民館グラウンドで
約350人が参加し、
行われました。

通常点検、婦人消
防隊の操法披露や各
種表彰などが行われ
た式では荒町長が
「団員の活躍に期待
しています」とあい
さつ、団員らは一年
の防火の誓いを新た
にしていました。

消防出初め式 一年の防火誓う

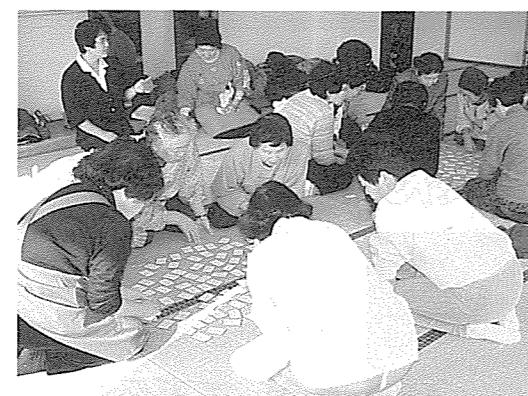


絵画・書道 交流巡回展

北海道伊達市とふるさ
と姉妹都市・歴史友好都
市を結ぶ新地町と、宮城
県山元町、柴田町、亘理
町による「公民館絵画・
書道交流巡回展」が1月
17日から19日までの3日
間、農村環境改善センター
で行われ、約130人が
訪れました。

会場には各市町の力作
約60点が展示されました。

ふくしま国体県民運動に みんなで参加しよう！



婦人学級 カルタ会で新春祝う

公民館主催の婦人学級
新年最初の講座が1月6
日、農村環境改善センター
で開かれ、カルタ会と七
草がゆづくりを行いま
した。

当日は約30人が参加し、
春の七草を摘み集め、調
理したあと、志茂尚子さ
ん（中島）を読み手に百人
一首を楽しみました。



町民綱引き大会 国体出場チーム決まる



▶写真提供、星義一さん（42歳・駒ヶ嶺町）

今年も危流しの民
俗行事「かせどり」
が1月14日の夜から
15日未明にかけて町
内各地でにぎやかに
行われました。

当日は午後7時ご
ろから、仮装グル
ープやカブの絵を持つ
た子供たちが次々と
訪れ、ユーモラスな
舞や踊りで災難の退
散と一家の安泰を祈
りました。

社協などがボランティア

一人暮らしの方にペン
立てなどをプレゼント

社会福祉協議会と町老人クラブ
連合会は、町内の寝たきり、一人
暮らしのお年寄りを励まそうと、
手作り卓上ペン立てなどをプレゼント
しました。

卓上ペン立ては昨年老人クラブ
婦人部約40人が昨年12月に製作、
1月20日に社協職員らと佐藤磨商
店が各地区老人クラブ長に配付し
ました。



食改さんらが 昼食サービス

社会福祉協議会による一人暮らし
の年寄りを招いた「ふれあい
の集い」が1月18日、農村環境改
善センターで行われました。

当日は楽しいゲームのあと、お
年寄り（約25人）に町食生活改善推
進員と保健婦さんら（9人）が豆腐
入りハンバーグなど豪華メニュー
をサービスし、交流を深めました。

○公徳心を育てよう
○相手の立場に立って行動し
よう

○交通ルールを守ろう
○交通ルールを無視してのスピード違反。脇道か
ら、ボールが転がってきたと思つた瞬間、子供の姿が…。
例え、交通ルールを無視してのスピード違反。脇道か
ら、ボールが転がってきたと思つた瞬間、子供の姿が…。
ルールを無視すれば事故を招

住み良いまちづくりは、そ
こに住む人々みんなが社会生
活のルールを守ることによつ
て築き上げられるものです。

ルールを無視すれば事故を招
る、ボールが転がってきたと思
つた瞬間、子供の姿が…。
ルールを無視すれば事故を招

社会生活のルールを守ろう

き自分がかりか他人をも傷つ
けになります。また、ごみを出す時のルー
ルを無視して、自分勝手に指
定された日以外にごみを出せ

ば、まちの美観を損ねるばかりか、害虫の発生やごみの散
乱など…。たった一人の身勝
手な行為が、地域全体に迷惑
をかけることになります。

さらに、公共施設などを利
用する時、「どうせ自分の物
ではないから…」という利己
主義的な考え方、施設を汚し
たり傷つけられ、後から利用
する人ばかりか、自分が再び
利用する時も、不愉快な気持
ちになることでしょう。私たち
一人ひとりがルールを守り
他人に迷惑をかけないこと、
それが地域の生活を明るくし、
ひいては、自分自身の生活を
守ることにつながります。

- 公徳心を育てよう
- 相手の立場に立って行動し
よう
- 交通ルールを守ろう
- 交通ルールを無視してのスピード違反。脇道か
ら、ボールが転がってきたと思つた瞬間、子供の姿が…。
例え、交通ルールを無視してのスピード違反。脇道か
ら、ボールが転がってきたと思つた瞬間、子供の姿が…。
ルールを無視すれば事故を招

町民のひろば



**むじ歯〇の
子供たち**

虫歯のない子を紹介します。

木村紘貴くん (波良)



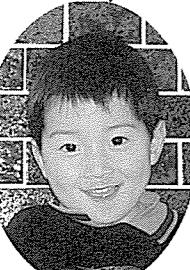














町の名所・名跡⑧

駒ヶ嶺城跡 (臥牛城)



駒ヶ嶺城内地区の丘陵上に

駒ヶ嶺城(別名・臥牛城)があ

ります。

駒ヶ嶺城は伊達との争いが

最も激しかった永禄から天正

にかけて、相馬氏が堅固な城

が必要となり築いたものです。

本丸跡は、東西約六十㍍、

南北約三十㍍の平場となり、

さらに東と西の門跡には、枑

形の土塁が残っていて、また

志らが城前会(会長・阿部要

さん)を組織し、草かりや清

掃など保存運動を行い、この

城で元朝を迎える人も多いそ

うです。

二十年近く前から地区の有志らが城前会(会長・阿部要さん)を組織し、草かりや清掃など保存運動を行い、この城で元朝を迎える人も多いそうです。

頑張るマン



「自分ではおとなしいと思うのですが、人からは明るいと言われます」と話す三宅さんは相馬市役所に勤務しています。

趣味はバイクのツーリングやドライブ。また、小さいころから創作するのが好きで、大学時代はロックバンドのボーカルもしていた三宅さんは生

地震被災者を 勇気づけたい

三宅 一博さん (24歳・埠浜)

涯の趣味にと最近ピアノも習

い始めたそうで、ゆくゆくは作曲などもしたいそうです。

将来の夢は、「読んだ人に勇

気を与えるような小説を書い

てみたいです。私も今回の地

震救援に寄付を行いましたが、

その方たちにメッセージを贈

り勇気づけたいです」と話してきました。

理想の女性のタイプは「特

にありません。好きになつた

人がタイプ」で結婚はまだ考

えていないとのこと。

最後に三宅さんは「私の近

所にも海滨公園ができたり、

町が良くなるのを見ると、行

政はやりがいがあると感じま

す。また、新地と相馬の懸け

橋になるようなことが何かで

きたいと思います」と話していました。

○お勤めはどちらですか。
☆中道機械株原町営業所です。昨年三月に仙台の専門学校を卒業し、四月に入社しました。同じ年の同僚もいて楽しいです。

○趣味は何ですか。

☆音楽鑑賞とドライブです。週末はよく仙台にドライブ

してきます。音楽は洋楽が好きですね。

○自分の性格は。

☆友人などからは明るいと言われますが、自分ではボーッとしていると思います(笑)

○理想の男性のタイプは。

☆いっしょにいて、おもしろくて、安心できるような

人。○有名人で言うと。

☆保阪尚輝さん。

○将来の夢は。

☆三十歳までに結婚して、幸せになりたいです。

○最後に町に対して一言。

☆遠くからきた人が足をとめて休んでいこうと言う気になるような場所のある町になればいいですね。(ありがとうございました)

☆講演で「朝食を食べないといい」と聞き、朝食をとるのをやめました。以来胃腸が丈夫になりました」と話すハツラツおじいさんです。

農業を営んでいた小泉さんは県の農業十傑に選ばれ農業

いきます

小泉さんは「昔、町の健康講演で「朝食を食べないといい」と聞き、朝食をとるのをやめました。以来胃腸が丈夫になりました」と話すハツラツおじいさんです。

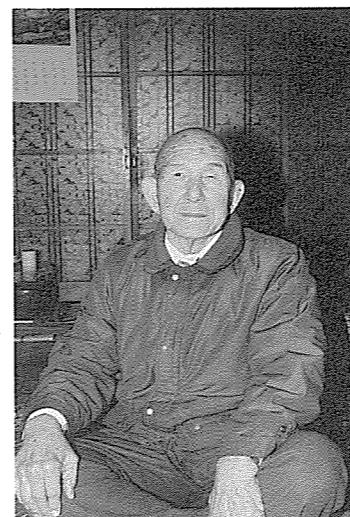
農業を営んでいた小泉さんは県の農業十傑に選ばれ農業

いぶ足が弱り、自転車を使つてしまふこともある、なかでも牛の飼育は仕事を越えて楽しみだったそうです。

しかし、五、六年前からだ

いぶ足が弱り、自転車を使つてしまふこともある、なかでも牛の飼育は仕事を越えて楽しみだったそうです。

賞を受けたこともあり、なかでも牛の飼育は仕事を越えて楽しみだったそうです。



こいづみ ただしこさん (89歳・新地町)

いかがどうぞいました。

最後に小泉さんは「今では留守番かたがた、五人の家族を見守つていきたいと思いま

す。元気によく食べて健康でいたい」と話していました。

最後に小泉さんは「今では留守番かたがた、五人の家族を見守つていきたいと思いま

す。元気によく食べて健康でいたい」と話していました。

最後に小泉さんは「今では留守番かたがた、五人の家族を見守つていきたいと思いま

す。元気によく食べて健康でいたい」と話していました。

しかし、五、六年前からだ

いぶ足が弱り、自転車を使つてしまふこともある、なかでも牛の飼育は仕事を越えて楽しみだったそうです。

賞を受けたこともあり、なかでも牛の飼育は仕事を越えて楽しみだったそうです。

町民のひろば

PAGE FOR PEOPLE



父亲は五十五歳で逝きたるにわかれました。賀詞を受けたり

門 馬 篤 志

さわやかな風にふかれても牛の飼育は仕事を越えてゆらゆらと小さきもみじ空に舞ひゆく

片 平 ト シ

朝夕に言葉交はして

茶呑みせし友は逝きたり花に埋もれて

見守つていきたいと思いま

す。元気によく食べて健康でいたい」と話していました。

しかし、五、六年前からだ

いぶ足が弱り、自転車を使つてしまふこともある、なかでも牛の飼育は仕事を越えて楽しみだったそうです。

賞を受けたこともあり、なかでも牛の飼育は仕事を越えて楽しみだったそうです。

しかし、五、六年前からだ

いぶ足が弱り、自転車を使つてしまふこともある、なかでも牛の飼育は仕事を越えて楽しみだったそうです。

あなたも国体選手に！

スポーツ行事に参加を



キビタン

相談



①交通事故相談
午前9時～午後3時
ところ：役場住民室

相談員
中川威雄さん（相馬市）

問い合わせ：役場保健環境
課（☎②2111）へ。

②行政相談
午前10時～午後3時
ところ：2月10日（金）

相談員
（会場地、古殿町）
・ウォーキング
（会場地、梁川町）
・オリエンテーリング
（会場地、大玉村）
・ゲートボール
（会場地、安達町・船引町、
西会津町、浪江町）

③心配ごと相談
午前10時～午後3時
ところ：2月10日（金）、
20日（月）
社会福祉協議会事務所
相談員
水品福秋さん（釣師）

④高齢者無料職業紹介所開設
午後1時30分～3時30分
ところ：2月9日（木）
社会福祉協議会事務所
相談員
村松武光さん（相馬市）

⑤問い合わせ：2月13日（木）
社会福祉協議会事務所（☎②4213）へ。
相談員
次とのおり町スポーツ少年団
員を募集します。

お知らせ

新地町役場／〒979-27 福島県相馬郡新地町谷地小屋字萩崎40 TEL 0244(62)2111・FAX 0244(62)3194



大会旗・炬火リレーに
ふくしま国体
「協力を！」
新地町で10月10日にリレー
される第50回ふくしま国体大
会旗・炬火リレーにご協力く
ださい。
町内外から訪れる応援者な
どを快く迎えられるよう、コー
スの整備、除草、花植えなど
や、当日、皆さんの沿道での
声援をお願いします。

問い合わせ：新地公民館
（☎②2085）へ。

⑥相談員
社会福祉協議会事務所

⑦社会福祉協議会事務所
相談員
次とのおり町スポーツ少年団
員を募集します。

⑧社会福祉協議会事務所
相談員
次とのおり町スポーツ少年団
員を募集します。

⑨社会福祉協議会事務所
相談員
次とのおり町スポーツ少年団
員を募集します。

⑩社会福祉協議会事務所
相談員
次とのおり町スポーツ少年団
員を募集します。

⑪社会福祉協議会事務所
相談員
次とのおり町スポーツ少年団
員を募集します。

⑫社会福祉協議会事務所
相談員
次とのおり町スポーツ少年団
員を募集します。

⑬社会福祉協議会事務所
相談員
次とのおり町スポーツ少年団
員を募集します。

⑭社会福祉協議会事務所
相談員
次とのおり町スポーツ少年団
員を募集します。

⑮社会福祉協議会事務所
相談員
次とのおり町スポーツ少年団
員を募集します。

⑯社会福祉協議会事務所
相談員
次とのおり町スポーツ少年団
員を募集します。

⑰社会福祉協議会事務所
相談員
次とのおり町スポーツ少年団
員を募集します。

⑱社会福祉協議会事務所
相談員
次とのおり町スポーツ少年団
員を募集します。

⑲社会福祉協議会事務所
相談員
次とのおり町スポーツ少年団
員を募集します。

⑳社会福祉協議会事務所
相談員
次とのおり町スポーツ少年団
員を募集します。

ご存じですか？
3B体操

公民館では3B体操の講習
会を次のとおり行います。

3B体操はストレッチやフォ
クダンスなどの要素を取り入
れたやさしい運動です。

奮って参加ください。

●日時 2月25日㈯ 午後1時30分～

●場所 農村環境改善センター

●締め切り 2月20日㈭

●申し込み 新地公民館

●問い合わせ 相馬税務署

町スポーツ少年団本部では、
スポーツ少年団関係

●問い合わせ 新地公民館
（☎②2085）へ。

次とのおり町スポーツ少年団
員を募集します。

●会員登録料
①野球、②柔道、③
剣道、④サッカー、⑤バレー
ボーラー、⑥空手、⑦卓球

●会員登録料
①野球、②柔道、③
剣道、④サッカー



樹種名 イチョウ
所在地 駒ヶ嶺字諏訪
所有者 諏訪神社
根回り 4メートル
胸回り 3メートル
高さ 約23メートル
その他 雌木で結実する

きのきの木たち (39)

よみがえった

常磐線の踏切をすぎ、藤崎地区に入るとすぐ右手に、諏訪神社の小さな森が見えて来ます。

足を運ぶと前に立田川が流れ、川と高台の間の低地に大イチョウは立っています。

訪れたとき、冬の寒さに晒されたためか、葉の落ち尽くした木膚は白味を帯びて冬の青空に輝き、火力発電所の煙突と競うかのように立っていました。

このイチョウについて地区の方に伺ったところ、もともとは神社の境内に隣接して寺があり、イチョウは寺のものであつたが寺が焼失し、イチョウだけが残ったそうです。

それが、明治五年、学制發布により創立した駒ヶ嶺小学校（県内最初に四校が開校し、駒ヶ嶺、新地の二校がこれに含まれる）の開校にあたり、この木を倒し、その材により児童生徒の机の蓋が作られたとのことです。

そして、残された切り株か

の方に伺つたところ、もともと駒ヶ嶺地区にはイチョウが多いようで、代表的な逆さイチョウを初め、高田公会があり、イチョウは寺のものであつたが寺が焼失し、イチョウだけが残ったそうです。

みんなに親しまれ、駒ヶ嶺小の校章にも取り入れられています。たしか旧駒中の校章もイチョウだったような気がします。こんなイチョウをもつと誇りにしたいものです。

大寒の空に突き上げ
大銀杏（渭城）

ら立ち上がった小さなひこばえが、百二十年余の歳月を経て現在の立派な大イチョウに蘇つたものだそうです。

生育に適しているのであるが、駒ヶ嶺地区にはイチョウ

生育を見せて立派なもので

す。駒ヶ嶺地区にはイチョウ

生育を見せて立派なもので

す。駒ヶ嶺地区にはイチョウ

生育を見せて立派なもので

す。駒ヶ嶺地区にはイチョウ

生育を見せて立派なもので

す。駒ヶ嶺地区にはイチョウ

生育を見せて立派なもので

金賞

しんちゃん納豆の豆づみ

菊地和枝さん(岡)作

ふるさと産業まつりで募集した町内産品を使った加工食品、アイディア料理を紹介します。

材料

・しんちゃん納豆、トウモロコシ、グリンピース、シユーマイの皮(餃子の皮)、塩、こしょう、味の素

作り方

①グリンピース、トウモロコシは下ゆです。②納豆、グリンピース、トウモロコシに塩、こしょう、味の素で味付けをする。③シユーマイの皮に②の具を入れ油で揚げる。



木村紘貴くん
(3歳2ヶ月・渋民)

「人見知りすることがありますが、お兄ちゃんといつしょの時は元気で、活発です。クレヨンしんちやんが好きで、よくまねしたりしますね。ミニカーレも大好きで、たくさんもっています。

健康で素直に、そして、いつもでも兄弟仲良く育つてほしいです。」

（ママのとし子さん）

